

今週のメニュー

■ [トピックス](#)

- ◇2011年子どもとためす環境まつり
ー中央区京橋築地小学校で開催され、3年連続参加ー

■ [随想](#)

- ◇塩ビフォーラムへの想い

一色 実

■ [お知らせ](#)

- 「エコプロダクツ2011」出展のご案内

■ [編集後記](#)

■ トピックス

- ◇2011年子どもとためす環境まつり
ー中央区京橋築地小学校で開催され、3年連続参加ー

11月26日に、中央区環境保全ネットワーク主催、中央区共催、環境省関東地方環境事務所、東京都環境局、東京商工会議所中央支部、中央区社会福祉協議会後援、34企業・団体協賛で「子どもとためす環境まつり」が、中央区京橋築地小学校で開催されました。塩ビ工業・環境協会(VEC)は一昨年の平松小学校、昨年の佃島小学校に続き3年連続で参加・出展しました。



「子どもとためす環境まつり」は、今年で8回目になりますが、同ネットワークが「地域の子どもたちの環境マインドをみんな育てよう」と区内の小学校を会場に巡回して開催されています。毎年参加者の輪も広がり、地域の子どもたちをみんなで育てる取り組みとそのための環境作りが共感を呼んでいます。実行委員長の話では、今回は大震災もあり、開催については中止するかどうか迷われたようですが、「絆と感謝・ありがとう」を合言葉に開催を決定されたそうです。



開会式

当協会は体育館のステージ近くで、「NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット」と「王子製紙(株)」の間で、塩ビのリサイクル製品や中学校に配布している「調べてわかるプラスチック」を紹介しました。子どもたちに楽しくプラスチックに触れて欲しいと思い、(株)ホログラムサプライのファンタスティック(ぐるぐる回るプラスチックのシャボン玉)の工作を指導しました。キラキラするPETフィルム、透明なアクリル棒、カット面で傷

を負わないようにした塩ビのキャップなどを用いて、10分程度の工作でした。多くの親子連れの来場者が訪れ、完成品を手にして嬉しそうな表情の子供たちで、会場は終日大賑わいでした。



VEC ブース

また、当日は朝から天気にも恵まれ、矢田区長様を始め、ボーイスカウト、東京海洋大学の学生など多くのスタッフの方々のサポートの下、地域の大人たちに交じって、子どもたちなど多数の方々が参加され、各ブースでそれぞれの素材を使った体験学習やスタンプラリーなどが、楽しい環境まつりに花を添えていました。お世話をされた実行委員会の方々の努力で無事に事故もなく、3時からの閉会式では「ありがとう」の閉会挨拶後、全員の三拍子でめでたく記念の手打ちを行いました。

「中央区環境保全ネットワーク」の活動に共鳴し、今回の「2011年子どもとためす環境まつり」に参加して、「環境学習の応援」の一翼を担うことが出来たことが良かったと思っています。

今後も、地域で育てる地道な活動をVECとしても応援して行きたいとあらためて思っています。そのような機会があれば、是非、身近なところでお声掛け下さい。(了)

■ 随想

◇塩ビフォーラムへの想い

一色 実

12月2日に当協会が入居している六甲ビルの会議室で「第3回塩ビフォーラム」が開催されました。はじめに当協会の土屋議長から開催のご挨拶を頂き、講演・発表会が行われました。招待講演は、「塩ビものづくりコンテスト」と「塩ビの世界市場動向」の2件があり、研究発表では、「リブパイプの特徴」、「ヤマネの塩ビ木製巣箱」、「軟質塩ビを用いた産学協同」が取り上げられました。約70名の方が講演と研究発表を熱心に聴講され、懇親会にも多くの方が残られて、講演発表頂いた先生方を囲んで和やかな異分野交流が行われました。



この「塩ビフォーラム」は、塩ビに関わる研究者・技術者が集い、国内外の塩ビに関わる新知識・新情報の普及と交換を計る唯一の機会であった「塩ビ討論会」の後継として始まった討論会です。「塩ビ討論会」は第59回の開催を最後に、4年前に幕を閉じ、半世紀に亘り塩ビの製造や加工に係る技術の紹介、意見交換の場として塩ビ産業の発展に寄与してきましたが、厳しい環境の中で、塩ビに関わる新規な研究や開発の取り組みが減少の一途を辿り、テーマも限られた分野に集中するなど、運営する先生方もご苦勞をされてきました。

そのような中で、多くの研究者・技術者の声に応えて、近畿化学協会重合工学部会 PVC 委員会が中心になって、開催地を大阪から東京に移し、翌年の平成 21 年 12 月に新たな「塩ビフォーラム」としてスタートしました。

折しも、その時期に塩ビ業界全体の活性化を願って、「塩ビものづくりコンテスト」の開催を企画し、その実現に向けた取り組みが行われていました。そこで、「塩ビフォーラム」をさらに発展したく、大阪市立大学の圓藤先生や近畿化学協会の廣澤事務局長と相談して、研究・技術分野でも塩ビの新たな可能性を拓くため、他分野の先生方を招いて、新たな「塩ビフォーラム」を近畿化学協会と当協会の共催で開催することが浮上しました。

幸い、塩ビ建材を普及するため、建築学会の先生方との共同研究が行われ、軟質塩ビ素材を用いたデザイナーとのコラボレーションも行われていたことから、塩ビにこれまで関わりの無かった先生方にあらためて塩ビ素材の面白さや興味ある事例を紹介して頂く機会が作れました。

共催で開催された「第 2 回塩ビフォーラム」では、若手デザイナーの話しや電気自動車をベンチャーで開発している先生のお話しなどが新鮮な印象で受け入れられ、新たな希望が湧いてきました。

今回の塩ビフォーラムも、デザイン専門学校の先生やヤマネの生態調査を行っている先生に登場頂き、新たな視点で見た塩ビ素材・製品の特徴を語って頂きました。また、世界の塩ビ市場動向などについても第一線で活躍されている商社の方に発表頂き、提供する情報の範囲を広げて、聴講頂いた方たちのお役に立てることを願いました。

今後も、近畿化学協会とともにこのような機会を提供し、塩ビの新たな可能性を広げて、研究者・技術者はじめ塩ビに関わる皆さんが交流できる場として、この「塩ビフォーラム」を発展させて行きたいと思っています。(了)

■ お知らせ

○ 「エコプロダクツ 2011」 出展のご案内

「エコプロダクツ 2011」が下記の要領で開催されます。
塩化ビニル環境対策協議会／塩ビ工業・環境協会にて、「社会のインフラ・ライフを支える PVC、地球環境・自然保護に貢献する PVC、新しい可能性にチャレンジする PVC」をテーマとして出展いたします。

塩ビ製品展示、パネル説明、などで、塩ビへのご理解を深めていただきたいと思います。

- ・ 日 時 : 2011 年 12 月 15 日 (木) ~ 17 日 (土)
10:00 ~ 18:00 (最終日のみ 17:00 まで)
- ・ 場 所 : 東京ビッグサイト (東 1 ~ 6 ホール)
(VEC 小間番号: 東 3 ホール、3-012)
- ・ 主 催 : (社) 産業環境管理協会、日本経済新聞社
- ・ 入場料 : 無料
- ・ [エコプロダクツ 2011](#)



■ 編集後記

ニュースなどで聞く「完全失業率」は、毎月、総務省が調査・発表しているものです。調査対象者は、全国から選ばれた約4万世帯なのですが、今年10月に、その『労働力調査』の一世帯に選ばれました。一度選ばれると、その月と翌月、翌年同月の4回調査が行われます。内容は、家族構成とそれぞれの就業状況、就業者は、勤務先情報と該当月の月末1週間の就業時間などです。来年も、同じ内容で回答できる事を願います。

ところで、以前に同じような事を書いたような気がしたら、2008年の10月に同じ総務省の『住宅・土地統計調査』の調査対象者にも選ばれていました。お年玉年賀葉書で切手さえ当たらないのに、これってついているのでしょうか？（自称ハチドリ主婦）

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp
